

校報すずかけ



豊かな心をつちか、自らを切り拓く子どもの育成

平成23年 3月17日 (木)

盛岡市立仙北小学校

特集 平成22年度 「学校運営に関する評価」の考察 について

保護者の皆さんから回答いただいた「学校運営に関するアンケート」による本校教育への評価、同内容で行った教職員の評価、この2つの評価を元にした新年度の学校経営も見据えた「本校の考察」、そして地域の代表として仙北小を支えてくださる「教育振興協議会のご意見」。保護者、地域、学校が一体となって、子どものより良い成長を願う仙北小の教育についての22年度の評価と23年度の具体的な運営方針をまとめました。

次ページ以降の「学校運営に関する評価」の考察の見方を説明します。

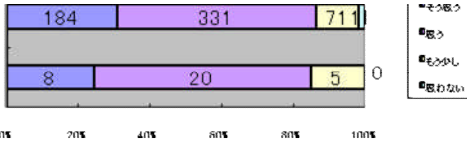
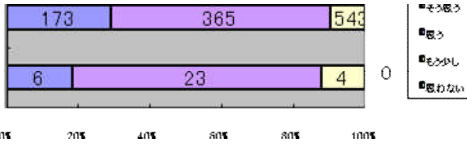
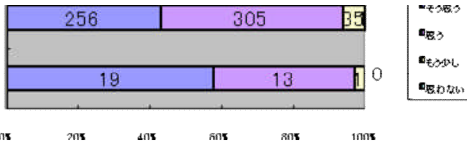
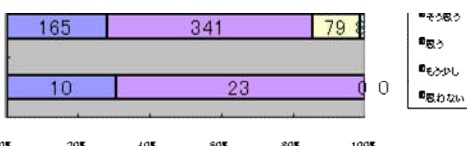
1月末に保護者・教職員による「学校運営に関するアンケート」の集計結果

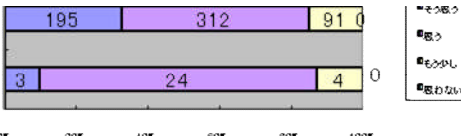
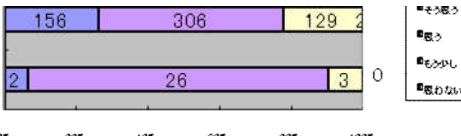
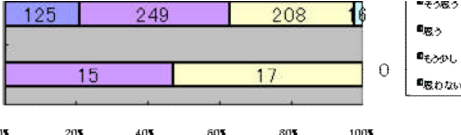
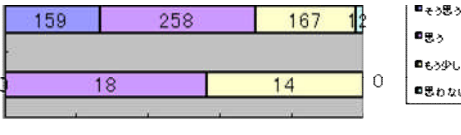
保護者アンケートの結果をもとにした学校の考察

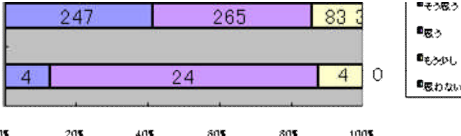
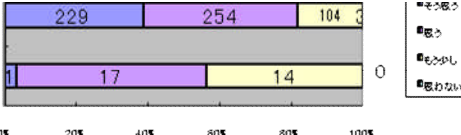
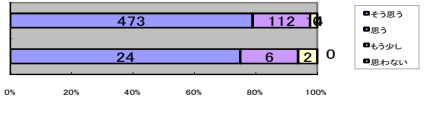
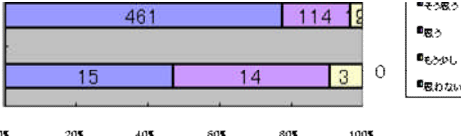
保護者からの評価と学校の考察への教育振興委員会の意見

	保護者・学校の評価	学校の考察	教育振興協議会評価								
【設問1】「全校欠席ゼロの日」の実績	<p>(1) 学校運営に関するアンケートの結果を、保護者の評価と教職員の評価に分けて示しています。保護者の回答率は約9割ですが、項目により回答数は上下しました。上段が保護者、下段が教職員（担任・副担任）です。</p> <table border="1"> <tr> <td>115</td> <td>336</td> <td>115</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>19</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p> <input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> もう少し <input type="checkbox"/> 思わない </p> <p>肯定的評価 76% (昨年75%) 79% (昨年82%)</p> <p>4段階評価のうちの「そう思う」「思う」を合わせた肯定的な評価の合計です。上段が保護者、下段が教職員の評価。昨年度の同項目の評価を()内に示しています。</p>	115	336	115	27	7	19	7	0	<p>◎保護者評価は先生方が子どもたちをしっかりと見守っていることなどを評価しています。</p> <p>「◎」は保護者及び教職員評価結果から分かる状況を分析しました。</p> <p>☆子どもと話す時間を増やるとともに、なわとび、マラソンなどの活動練習を積極的に取り入れていきました。</p> <p>「☆」は保護者の評価、分析結果から、新年度に教育活動に取り入れたい内容です。</p>	<p>Q 欠席ゼロの日は何日あるか？</p> <p>A 今年度はまだない。</p> <p>「Q」「A」は教育振興委員会の席上出された質問(Q)とその回答(A)です</p> <p>◎ 魅力ある学校であることが、安易に休まないで欠席ゼロにつながる。</p> <p>「◎」は新年度の学校運営の方針について、教育振興委員会としての提言です。</p>
115	336	115	27								
7	19	7	0								

	保護者・学校の評価	学校の考察	教育振興協議会評価
<p>【設問1】「全校欠席ゼロの日」の実現</p>	<p>(1) 学校は、子どもたちが楽しく学校生活を送るために、子どもたちの友人関係に配慮したり、子どもが悩みなどを相談できるような雰囲気づくりに努めたりしている。</p> <p>肯定的評価 76% (昨年75%) 79% (昨年82%)</p> <p>(2) 学校は、子どもに少々のことにくじけない強い気持ちを持たせ、意欲を引き出すために、ほめる、しかるなど適切な指導に努めている。</p> <p>肯定的評価 82% (昨年83%) 97% (昨年97%)</p>	<p>○保護者は先生方が子どもたちをしっかりと見守っていることなどを十分評価している。(アンケートの声より)</p> <p>○先生方は、子どもの活動の課程を把握し、一人一人を一生懸命見るようにしている。保護者に、必要な情報（先生方の指導等）を知らせていくことが子どもへの理解へもつながる。</p> <p>☆意欲を高めるために、なわとび、マラソンなどの各活動の中で、粘り強くやり遂げる指導場面を工夫するとともに、家庭との情報交流を図っていききたい。</p>	<p>◎子どもが意欲をもって活動できる学校は魅力のある学校である。今後も学校が楽しく魅力ある学校づくりに励んでもらうために、私たちも協力していく。</p> <p>◎少々のことにくじけない強い気持ちを持たせるためには、家庭との連携が必要。</p>
<p>【設問2】「漢字ぐんぐん」「計算マスター」の実施</p>	<p>(1) 学校は、学習の基盤づくりのため、自学自習の態度を育てる漢字ぐんぐんを行い、全ての子どもが学年必須の漢字を習得するよう努めている。</p> <p>肯定的評価 86% (昨年90%) 91% (昨年100%)</p> <p>(2) 学校は、基礎的な計算技能の確実な定着のためマスターテストを行い、全ての子どもが学年必須の計算を習得するよう努めている。</p> <p>肯定的評価 87% (昨年89%) 70% (昨年67%)</p>	<p>○「漢字ぐんぐん」や「計算マスター」で、子どもが達成感を持つことに対して、保護者も評価している。</p> <p>○「漢字ぐんぐん」では、毎日の練習や、学年での取り組みにより、自学自習の態度を身につけてきた子どもが増えてきた。「計算マスター」では、取り組み期間が学期末などに集中し効果的な指導とはならなかった。</p> <p>☆「漢字ぐんぐん」や「計算マスター」は、国語・算数の基礎基本を身につけるためのものである。来年度は、「計算マスター」の活用の頻度を増やしていきたい。</p>	<p>◎学校の指導が評価されている。家庭学習、或いは自学によって、読み書き計算にしっかり取り組みれば、学校においても自信を持って学習することができる。</p> <p>◎子どもたちのがんばっている様子を学校からさらに発信していくことが大切。</p>

保護者・学校の評価	学校の考察	教育振興協議会評価
<p data-bbox="148 241 188 1122">【設問3】「あいさつ・返事」「あとしまつ」「あつまり」(3A)の徹底</p> <p data-bbox="236 185 770 309">(1) 学校は、「あいさつ・返事」など、日常のさまざまな場面で習慣化されるよう指導に努めている。</p>  <p data-bbox="312 521 767 600">肯定的評価 86% (昨年88%) 85% (昨年67%)</p> <p data-bbox="236 645 770 768">(2) 学校は、「あとしまつ」「あつまり」など、日常の活動や行事を通して適切な指導に努めている。</p>  <p data-bbox="312 981 767 1059">肯定的評価 91% (昨年91%) 88% (昨年73%)</p>	<p data-bbox="794 185 1161 723">○児童会のあいさつ運動の活動によりあいさつが全校に広がってきている。 ○見守り協力員や地域の方々から子どもの挨拶が良いと言われるようになってきている。 ○日常の活動の中で、何のために集まるのか、後始末をしっかりするのかについて考えさせたり、意識させたりすることにより、改善がみられる。</p> <p data-bbox="930 730 1018 808">↓</p> <p data-bbox="794 813 1161 1104">☆校内だけでなく、地域でもあいさつができるように育てたい。そのためには、家庭であいさつすることが第一歩である。したがって、家庭の協力が大切である。</p>	<p data-bbox="1193 730 1536 1059">◎子どもたちのあいさつが、良くなってきており、がんばっている様子が分かる。 ◎学校でも家庭でも、毎日の生活の中で、機敏な動きを意識して指導していく必要がある。</p>
<p data-bbox="148 1220 188 1675">【設問4】「マラソン大会」の実施</p> <p data-bbox="236 1164 770 1288">(1) 学校は、マラソン大会など持久力や根気強さを伸ばす運動を積極的に取り入れた指導に努めている。</p>  <p data-bbox="312 1500 767 1579">肯定的評価 94% (昨年94%) 97% (昨年97%)</p> <p data-bbox="236 1624 770 1780">(2) 学校は、友達と励まし合いながら挑戦する意欲や困難を乗り越えようとする力を育てる指導に努めている。</p>  <p data-bbox="312 2000 767 2078">肯定的評価 85% (昨年84%) 100% (昨年91%)</p>	<p data-bbox="794 1164 1161 2112">○保護者の評価は、昨年度同様、高評価を得ている。マラソン大会に向けて朝早く登校して走ったり、100km 走破を目標に取り組み、全員達成を目標にし、成果をあげることができた。マラソン大会本番でも多数の親の声援や励ましが子どもへの大きな力となった。 ○学年児童会を中心に進めさせたり、個人毎に目標を設定させたり、子ども自身に意識させながら取り組み、手応えを感じさせることができた。 ☆マラソン大会等に向けて学級毎に取り組みを話し合わせ、子ども同士が励まし合ったりすることにより、粘り強さをさらに育てさせたい。</p>	<p data-bbox="1193 1164 1536 1955">Q 100kmマラソンとは？ A 4年生では、盛岡から宮古までをおよそ100kmと考え、走破することを目標にして取り組み、全員が目標を達成した。 ◎マラソン大会までの取り組みの目標を達成できなかった子どもが、大会後も走り、達成できたと聞いた。困難を乗り越える力をつけるには、大切な指導である。</p>

保護者・学校の評価	学校の考察	教育振興協議会評価
<p>【設問5】 子どもの話に耳を傾け親子で対話するよう努めましょう</p> <p>(1) 家庭では、学校での出来事、がんばっていることなど、子どもの話を聞くよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 85% (昨年88%) 87% (昨年91%)</p> <p>(2) 家庭では、子どもの様子に目を配り、穏やかな気持ちで登校させるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 78% (昨年80%) 90% (昨年81%)</p>	<p>○先生方に望ましい評価が少ないのは、推測的な評価のためと思われる。努力を必要とする児童・家庭の実態を把握するとともに、家庭への啓発が必要である。</p> <p>○子どもの様子に目を配り励ましたり、諭したりしながら進めている家庭も多いが、中には放任傾向なところもある。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆小学校生活を送る上での親の心構え・子どもの見守り方についてなど、家庭の教育力の維持向上につながる学習を今後も継続していきたい。</p>	<p>◎子どもが親から放任されていたり、親自身がうまく子どもと接することができない家庭があるのではないかとと思われる。</p>
<p>【設問6】 家庭学習のノートを見る時間をつくりましょう</p> <p>(1) 家庭では、家庭学習を「10分×学年+10分」を目安に学習させるため、子どものテレビやゲームの時間が適切であるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 63% (昨年60%) 47% (昨年66%)</p> <p>(2) 家庭では、家庭学習ノートを見てあげたり、音読を聞いてあげたりするなど、子どもの学習意欲に応えるよう努めている。</p>  <p>肯定的評価 70% (昨年78%) 56% (昨年69%)</p>	<p>○保護者と学校双方の評価が低いのは、テレビ視聴時間の減量作戦などの調査を通し実態が明らかになり問題意識をもつようになったのではないかと。</p> <p>○家庭では、学習について呼びかけたりしているが先生方は、子どもの家庭学習の中身を見て判断するため、家庭との評価に比べ、厳しい評価となっている。</p> <p>☆下線部は今年度新たに設定したものである。今後は、家庭学習に関する情報を共有できるように家庭と連携を図っていく。</p>	<p>◎学校は、家庭への協力をどこまで要求するのか。親の判断基準を知り、協力のあり方を学校側も考えていかなければならない。</p>

保護者・学校の評価	学校の考察	教育振興協議会評価																																								
<p>【設問7】 あいさつ、返事、あとしまつがしっかりとできるように声がけしましょう。</p> <p>(1) 家庭では、「おはようございます、いただきます、ごめんなさい。」などの挨拶や返事をきちんとさせるように努めている。</p>  <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>247</td> <td>265</td> <td>83</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>4</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>もう少し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>肯定的評価 86% (昨年86%) 88% (昨年90%)</p> <p>(2) 家庭では、使った物の後始末や翌日の学習で使う物の準備など、子どもの力でさせるよう努めている。</p>  <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>229</td> <td>254</td> <td>104</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>もう少し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>肯定的評価 86% (昨年84%) 56% (昨年75%)</p>	そう思う	247	265	83	3	思う	4	24	4	0	もう少し					思わない					そう思う	229	254	104	3	思う	1	17	14	0	もう少し					思わない					<p>○あいさつ、返事等も含めて、家庭では、きちんとさせようとする姿勢が伺われる。</p> <p>○子どもの忘れ物が多いことから、学校での評価が低くなっている。</p> <p>☆後始末や準備の不備は、学習用具の忘れ物や提出物の遅れにつながってくる。忘れ物が多い子は、親の目が行き届いていない場合が多い。学校における子どもの様子や実態を家庭に伝え、協力を得ながら改善を図る。</p>	<p>◎子どもからのあいさつを待つだけでなく、<u>地域、家庭からも明るく元気なあいさつをしていくように私たちも働きかけていく。</u></p>
そう思う	247	265	83	3																																						
思う	4	24	4	0																																						
もう少し																																										
思わない																																										
そう思う	229	254	104	3																																						
思う	1	17	14	0																																						
もう少し																																										
思わない																																										
<p>【設問8】 朝食をしっかりと食べさせて、歩いて登校させましょう。</p> <p>(1) 家庭では、毎日朝ご飯をしっかりと食べさせるよう努めている。</p>  <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>473</td> <td>112</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>24</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>もう少し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>肯定的評価 98% (昨年98%) 94% (昨年100%)</p> <p>(2) 家庭では、歩いて登下校させるよう努めている。</p>  <table border="1"> <tr> <td>そう思う</td> <td>461</td> <td>114</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>思う</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>もう少し</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>肯定的評価 98% (昨年95%) 91% (昨年94%)</p>	そう思う	473	112	10	0	思う	24	6	2	0	もう少し					思わない					そう思う	461	114	10	0	思う	15	14	3	0	もう少し					思わない					<p>○ほとんどの子がきちんと食べてきている。保護者の「もう少し」の実数も減少しており、家庭でも努力していることが伺える。</p> <p>○歩いて、登下校させようとしている親の意識は高い。子どもの日常的な体力作りに、つながっている。</p> <p>☆ほとんどの家庭が、朝食をしっかりと食べさせている。しかし、その日の事情によって朝食をとらない子がいる。その際は注意を促し、改善を図っていく。</p>	<p>◎必要な場合は、家庭・学校・地域のバックアップが大切である。その時は、地域にも声をかけてほしい。</p>
そう思う	473	112	10	0																																						
思う	24	6	2	0																																						
もう少し																																										
思わない																																										
そう思う	461	114	10	0																																						
思う	15	14	3	0																																						
もう少し																																										
思わない																																										

	保護者からの評価	学校の考察	教育振興協議会評価
<p>【設問9】 (1) お子さんが学校に行っていることとは何ですか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生や友だちと遊んだり話したりすること ○ 楽しんで学校に行っていること ○ 好きな教科を勉強すること。(授業) ○ おいしい給食を食べること。 ○ マーチングや合唱、スポーツクラブで活動すること。(特設クラブ) ○ 体験活動(町探検、スケート教室、そり遠足等)をすること ○ 図書館の本を読むこと。 ○ 運動会などの行事に参加すること。 ○ なかよしタイムで上級生・下級生と遊ぶこと。 ・ おしゃべりタイム・放課後ぐんぐんクラブ ・ 縦割り清掃・ プール ・ ドッジボール・縄跳び・係活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが学校で楽しみにしていることを保護者も把握している。 ○友達との交流が一番であり、さらに好きな教科の学習や、給食、先生との触れ合いなどが続く。低学年は、縦割り班清掃の人との交流や、上級生と遊ぶなかよしタイムを、高学年では特設クラブの活動を楽しみにしていることが伺える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【設問9】の回答の○印は、多数の回答が寄せられた項目です。 ・印は、少数の回答です。</p> </div>	<p>Q 放課後ぐんぐんクラブとは？</p> <p>A 家庭で、なかなか学習を見てあげることができない家庭を対象としている。家に帰る前に、放課後支援員（3名）のもとで、宿題・家庭学習をする。1年生～6年生まで250名ほどいるため、曜日と時間を決めて実施している。</p>
<p>【設問9】 (2) お子さんを仙北に入れてよかったと思うことは何ですか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方がしっかり子どもを見ていること。 ○ 先生が学習の定着に努めている ○ 安心安全で、良い先生、良い環境であること ○ 対応が早い、丁寧である。 ○ 子どもが楽しく通学している。 ○ 学年を超えてコミュニケーションを取っていること。 ○ たくさんの友達が出来たこと。 ○ 運動会や音楽祭での全校のまとまりがある。 ○ コース別学習、TT ○ 特設クラブなどの活動や発表の場が地域にあること ○ スポーツ、音楽など幅広く活動がされ、選択もできること ○ 異学年との交流が行われている。 ○ 地域との交流を大切にしている。 ○ 地域が子どもを見守ってくれる。 ○ 温かくおいしい給食が食べられる。 ○ 漢字ぐんぐんなどで、自学する力がつくこと。 ・ 体力向上や学力向上など、明確な目的に対する積極的な指導がある。 ・ さんさ踊り ・マスタープリント ・ 子どもに良いと思われることを取り入れ続けていること 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが安心して喜んで登校していることが分かる。さらに、先生方の熱意ある指導が保護者にも認められていることが伺える。 <p>特設クラブ（マーチングバンド、合唱）等と地域との交流も学校への信頼に結びついている。</p>	<p>Q 異学年交流とは？</p> <p>A 縦割り班清掃のグループが「なかよしタイム」での遊び、「なかよし給食」「なかよし弁当」で交流している。</p> <p>◎仙北小学校は、以前から、TTや少人数指導などの実践を行っている。楽しく学ぶ雰囲気作りができています。それが、学力向上にもつながっている。今後、授業全般にわたり工夫・改善に努めていってほしい。</p>

	保護者からの評価	学校の考察	教育振興協議会評価																																
<p>【設問9】 (3) ①お子さんを成長させるため学校に要望したいことは何ですか</p>	<p>○親が先生方を信頼していくことを第1と考えている。ぜひ、ビシビシと指導してほしい。</p> <p>○たくさんほめて、一人一人に自信を持たせてほしい。</p> <p>○子どもそれぞれに達成感を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になったことがあったら知らせてほしい ・個性を見極め、個々にあった指導 ・「ほめる」、「しかる」のメリハリをつけ、意欲を持たせて ・親、家族、友人を大切にすることも ・相手をおもいやる心 ・たくましさを家庭と学校で育てたい ・気軽に相談する雰囲気。 ・良い悪いをはっきり指導してほしい。 ・人前で話す機会の設定（積極性） ・家庭学習の取りませせ方 ・宿題が多い ・宿題が少ない ・隠れたいじめ、子どもの嘘に気づいてほしい。 ・トイレの臭いが気になるので早く改善してほしい。 	<p>○保護者は、学習の基盤を大切にするために基礎・基本の定着を望んでいる。「宿題が多い」「宿題が少ない」という両方の意見がある。学校では、最低限やる内容を年度初めに確認するとともに、見通しを持って進める必要がある。</p> <p>○適切な対処がすぐとれるよう、普段のから担任・担当が相互に連絡をしながら親との連携を大切にしていきたい。</p>	<p>◎家庭での学習に関して家庭と協力して進めることが大事。</p> <p>※もう少し、テレビを見る時間を減らし、読書や家庭学習を真剣に行う。部活のせいで・・・、先生方の教え方・・・と家庭で考えることもあるが、学校と家庭とが協力して行うことが大切である。</p> <p>Q最近では、学校の先生方の多忙の実態を知らずに、過度な要望をしてこないか。</p> <p>A仙北小の保護者は、ほとんどの方が配慮しながら相談してくれている。</p>																																
<p>(3) ②縦割り班清掃について</p>	<p>①どのような活動か分からない</p> <table border="1" data-bbox="240 1290 767 1391"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>②どのような活動か分かっている</p> <table border="1" data-bbox="240 1429 767 1529"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>107</td> <td>10</td> <td>87</td> <td>72</td> <td>65</td> <td>63</td> <td>503</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・良い活動である。高学年が低学年の手本としてがんばっている。 ・他学年の児童と知り合えて、喜んでいる。 ・家庭では学べない大切な経験をしている。 ・上級生から掃除をおしえてもらってありがたい。 ・上級生とトラブルもあるようだが、それも大事な経験である。 ・勉強や生活の中でも取り入れてほしい。 ・兄弟のいない子にとって新鮮な活動である。 	学年	1	2	3	4	5	6	合計	人数	14	20	15	11	9	8	77	学年	1	2	3	4	5	6	合計	人数	107	10	87	72	65	63	503	<p>○縦割り班清掃活動について、保護者のみなさんもほとんどが有効な活動と考えており、その継続を願っている。今後、表出するであろう様々な問題点について、子ども自身で克服できるように指導しつつ、継続を図る。</p>	<p>◎「上級生がこわい」「低学年が言うことを聞かない」ということは家庭ではなかなか味わえないものである。それを体験するのが、教育的に意義のあることである。</p>
学年	1	2	3	4	5	6	合計																												
人数	14	20	15	11	9	8	77																												
学年	1	2	3	4	5	6	合計																												
人数	107	10	87	72	65	63	503																												